

「ミュージック・イン・ザ・ダーク」は、視覚障がいのある演奏家と視覚障がいのない演奏家の合同メンバーによるアンサンブルが照明をすべて消した暗闇の空間で演奏し、視覚以外の感覚を通して音楽を享受するコンサートです。本シリーズは2015年に始まり、これまで弦楽アンサンブルや管楽器を交えた室内楽、日本の楽器尺八のアンサンブルによるプログラムで6回の公演を行なってきました。第7回となる今回は、この「ミュージック・イン・ザ・ダーク」の創設に深く関わってくださったヴァイオリニスト和波孝禧さんをソリストに迎え、初心に返って本企画の意義を見つめ直すことができたらと思っています。

全身の感覚を研ぎ澄ませて漆黒の闇に身を委ねるとき、音楽はより雄弁になにかを語りかけてくるかもしれません。このコンサートが、音楽とはなにか、音とはなにか、そして視覚障がいについて考える契機となれば幸いです。

新井鷗子

〔曲目〕

- J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番
ニ短調 BWV 1004より 第5曲「シャコンヌ」
- J.S.バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲
ニ短調 BWV1043
- A.ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集
《和声と創意の試み》Op.8「四季」

和波孝禧(ヴァイオリン)

Takayoshi Wanami



©Shigeto Imura

1962年に日本音楽コンクール第1位・特賞。翌年日本フィル定期のソリストとして楽壇にデビュー。さらにパリのロン＝ティボー、ロンドンのカール・フレッシュ国際コンクールに上位入賞。1969年にはベルリンとロンドンでのリサイタルに成功を収め、以後国内外の主要オーケストラと数多く協演しているほか、ピアニスト土屋美寧子とのデュオ、チェロの岩崎浩を加えたトリオ、東京での「クリスマス・パッサリシリーズ」や「アフタヌーン・コンサート」の開催、サイトウ・キネン・オーケストラへの参加に加え、毎夏「八ヶ岳サマーコース&コンサート」を主宰して後進の指導に当たるなど多彩な活動を続けている。これまでに点字毎日文化賞、文化庁芸術祭優秀賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、本間一夫文化賞など受賞多数。2005年には紫綬褒章、2015年には旭日小綬章を贈られた。ホームページ <http://www.music-wanami.com>

川島成道(ヴァイオリン)

Narimichi Kawabata



©山吹康男

視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステータスの称号を授与され首席卒業。ソリストとして精力的な活動を展開、国内外の主要オーケストラと多数共演。CDは1st・2ndアルバムがそれぞれ20万枚の記録の大ヒットとなって以来15枚をリリース。「徹子の部屋」「スタジオパークからこんにちは」などのテレビ番組にも出演。デビュー当初より音楽活動の傍ら積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。中学・高校教科書などに映像や文章が使用される等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。文部科学省スペシャルサポート大使。ホームページ <http://www.kawabatanarimichi.jp>

成田達輝(ヴァイオリン)

Tatsuki Narita



©Marco Borggrevert

1992年生まれ。札幌で3歳よりヴァイオリンを始める。ロン＝ティボー国際コンクール(2010)、エリザベト王妃国際音楽コンクール(2012)、仙台国際音楽コンクール(2013)でそれぞれ第2位受賞。これまでに、ペトル・アルトリヒテル、オーギュスタン・デュメイ、ピエタリ・インキネンなど著名指揮者や国内外オーケストラと多数共演している。2018年8月と翌2月に韓国で行われた平昌音楽祭に参加し、ソン・ヨルム、スヴェトリン・ルセヴらと共演。2018年にはミンスクで行われたユーリ・バシュメット音楽祭にも参加している。使用楽器は、アントニオ・ストラディヴァリ黄金期の「Tartini」1711年製(宗次コレクションより貸与)。

小林美樹(ヴァイオリン)

Miki Kobayashi



©山吹康男

2011年、伝統ある第14回ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクールにて第2位を受賞して一躍注目を集めた。2006年にはレオポルド・モーツァルト国際ヴァイオリンコンクールにてギドン・クレーメル氏から審査委員特別賞を受賞。これまで国内主要オーケストラはもとより、マキシム・ヴェンゲーロフ氏の指揮や彼から推薦を受けたポーランド主要オーケストラとも共演している。東京や全国各地でリサイタルを行う一方、宮崎国際音楽祭、鎌倉芸術館ゾリステンなどにおいては室内楽にも精力的な活動を展開している。2021年には一晩にピアノラ&ヴィヴァルディの「四季」を同世代のメンバーと演奏して絶賛を博した。2014年出光音楽賞を受賞。CDは4枚リリース。

特別編成合奏団(※五十音順)

コンサートマスター
三浦章宏

- ヴァイオリン ———— 荒木唯子、磯絵里子、白井麻実、
宇根京子、小寺麻由、高井敏弘、
徳永希和子、松尾牧子、横島礼理
- ヴィオラ ———— 須田祥子、田辺藤祐、三浦克之
- チェロ ———— 新井幸子、高橋純子、山内俊輔
- コントラバス ———— 高橋洋太
- チェンバロ ———— 小森谷裕子



©Yoshinori Kurosawa

- ◆やむを得ぬ事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ◆チケットは如何なる場合(紛失・盗難・破損等)も再発行いたしません。
- ◆お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。
- ◆公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面以外は一切ご返金できません。

横浜みなとみらいホール [公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団]

〒220-0012横浜市西区みなとみらい2-3-6 TEL:045-682-2020 FAX:045-682-2023
<https://yokohama-minatomiraihall.jp/> @yokohamammh

- 交通のご案内
- みなとみらい駅(東急東横線直通みなとみらい線)下車、徒歩3分
 - 桜木町駅(JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)下車、徒歩12分。



【大規模改修工事に伴う長期休館のお知らせ】

横浜みなとみらいホールは大小ホール天井耐震化と施設の長寿命化、バリアフリー対応を目的とする大規模改修工事に伴い、全館休館しており、2022年10月21日に再開いたします。(横浜みなとみらいホール仮事務所 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-3-1 PLOT48)

■横浜みなとみらいホール ウェブフレンズのご案内

横浜みなとみらいホールでのコンサートをさらにお楽しみいただくための特典プログラム。ホールの最新情報やお得な情報などをメールマガジンでお届けします。ご登録はこちら▶



■託児サービス

決定次第、横浜みなとみらいホールウェブサイトにてご案内いたします。

■新型コロナウイルス感染防止に向けて

横浜みなとみらいホールのウェブサイトにて、最新の情報を確認の上、ご来場ください。



みらいに響け みんなの音楽



YOKOHAMA
OTOMATSURI
横浜音楽祭

3年に一度の音楽の祭典

横浜音楽祭2022

2022.9.17(Sat)→11.6(Sun) 会場:横浜市内全域



- yokohama_otomatsuri
- yokohamaoto
- yokohamaotomatsuri

主催:横浜アーツフェスティバル実行委員会

協賛:日産自動車株式会社、三井不動産グループ、三菱地所グループ、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、株式会社JVCケンウッド、スターツグループ、株式会社そごう・西武 そごう横浜店、株式会社高島屋 横浜店、上野トランステック株式会社、株式会社キタムラ、株式会社崎陽軒、クイーンズスクエア横浜、ケン・コーポレーション グループ、株式会社サカタのタネ、株式会社ジェイコム湘南・神奈川、凸版印刷株式会社、NEC、びあ株式会社、NTT東日本、株式会社メモワール、株式会社ヤマミュージックジャパン、株式会社横浜銀行、リストグループ

協力:キリンビール横浜支社、京浜急行電鉄株式会社、相鉄グループ、東急電鉄株式会社、富士フィルムビジネスソリューション株式会社、横浜高速鉄道株式会社、横浜信用金庫